



相談支援員 Y・A さん
相談支援事業所（ぱっそ・あ・ぱっそ）勤務
平成 26 年度採用

先輩職員からのメッセージ

大変なことも多い分、喜びややりがいも多い仕事だと思います。相談支援員は、日々様々な人とやり取りしたり、事業所を見て回ったりすることが多い仕事です。コミュニケーションを取ることが好きな方、人の良いところをたくさん見つけることが得意な方、相談支援専門員のお仕事はどうですか？ぜひ、興味を持ってくださる方をお待ちしています。

質問 1：姫路市社会福祉事業団で働こうと思ったキッカケは？

前職を退職したタイミングで、日頃お世話になっていた職員の方よりお声掛けいただいたことがキッカケです。当初、臨時職員として勤務している中で、丁寧に支援に関わっておられる先輩方の姿を見て、今後ここで長く働いていきたいと思い、正規職員の応募にチャレンジしました。

質問 2：働いている施設の概要と、その中でのあなたの仕事内容を教えてください。

相談支援事業所ぱっそ・あ・ぱっそに所属しており、姫路市基幹相談支援センターの業務を担当しています。姫路市における相談支援の中核的な役割を担う機関として、市内の相談支援専門員への専門的な支援や人材育成、関係する機関との連携強化など、相談支援体制の充実に向けた取り組みを行っています。

質問 3：仕事の面白さややりがいなどはありますか？

一番は、障害福祉に限らず様々な分野・立場の方と連携しながら支援を考えていく機会が多いことです。利用者の困りごとの解決や生活を支えるためには、児童・教育・高齢・医療・司法・保健福祉など、他福祉関係者との連携や、時には不動産会社等の他業種、民生委員や地域の方々ともやり取りすることもあります。その分、課題も多岐にわたるため、困難さも多いですが、自分が携わる支援の幅や可能性も大きい業務だと思います。

質問 4：仕事をするうえで心がけていることなどはありますか？

当事者だけではなく、様々な立場の方が、それぞれの目的をもって相談に来られます。表面上の言葉だけで判断せず、話をしっかりと傾聴することで、本来のニーズを取りこぼさないように意識しています。他分野との連携においては、相手の立場や考え方があることもふまえて、協力し合える関係性作りにつながるよう取り組むことが大切だと感じています。

質問 5：職場の雰囲気教えてください。

相談業務は、一人でご家庭や事業所に出向くことが多いため、職員全員が揃って話ができる時間は取りにくいですが、何かあった時はすぐに相談したり、一緒に考えたりすることができる環境です。相談や共有がしやすい雰囲気作りができています。

質問 6：今後の目標を教えてください。

既存の仕組みや考えに囚われすぎるとできない業務になるため、もっと柔軟に物事を考え、フットワークを軽く行動できるようになりたいです。そのために、幅広く様々な方と関わったり、様々なことに興味を持つことが必要だと思っています。

一日のスケジュール

午前 8 時 35 分から午前 9 時	朝礼後、基幹相談支援センターへ移動
午前 9 時から正午	相談支援事業所相談支援専門員来所（ケース相談対応：グループスーパーバイズ）
正午から午後 1 時	昼休み
午後 1 時から午後 3 時	相談支援事業所より、電話にてケース相談対応、情報提供など
午後 3 時から午後 4 時 30 分	地域相談窓口連絡会に参加
午後 4 時 30 分から午後 5 時 20 分	記録類作成
午後 5 時 20 分	退勤